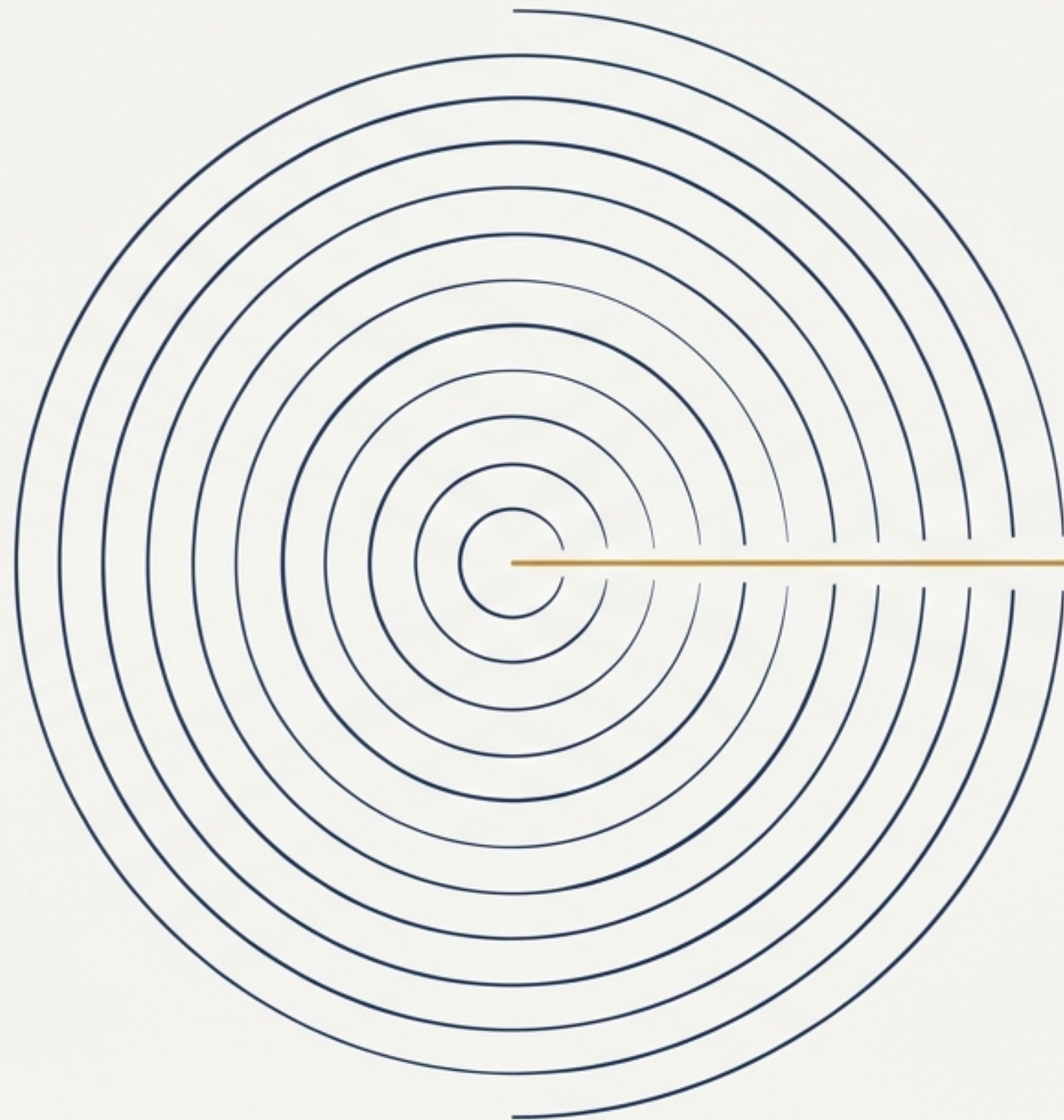


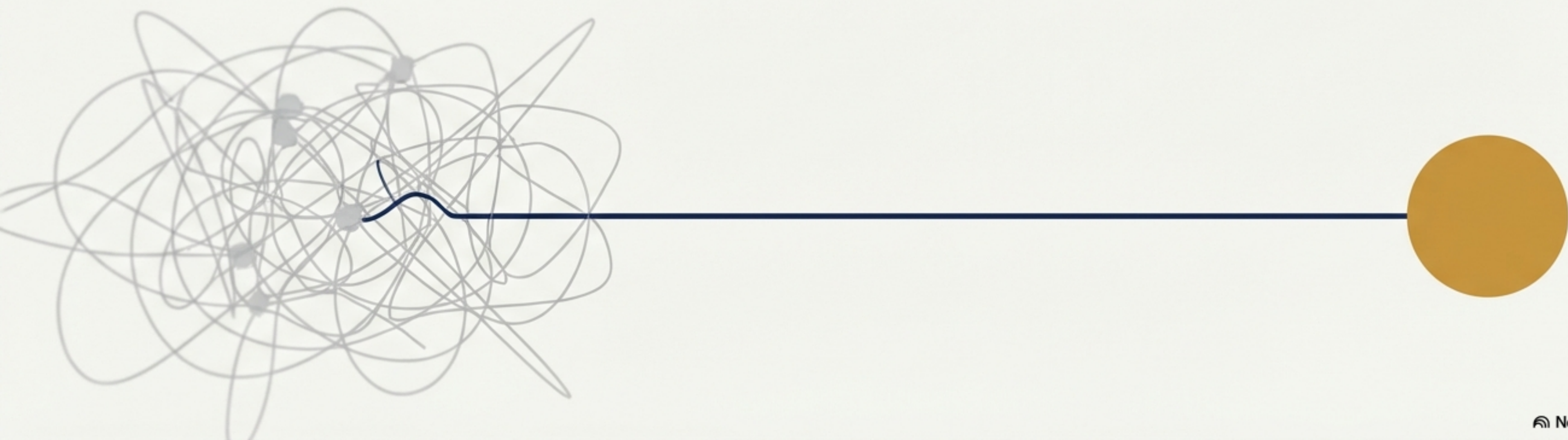
授業設計の核心： 学習目標を デザインする

理論から実践まで、学習者の成長を
保証する目標設定の技術



なぜ、ある授業は成功し、ある授業は 的を射ないのか？

優れた授業の第一条件は、学習者が目標を十分に達成できることです。
しかし、その「目標」が曖昧であれば、授業の展開も評価も不明確になります。
全ての鍵は、授業の「出口」を明確にデザインすることにあります。



学習目標とは何か？



学習目標とは，学習者が，身に付けること，できるようになること，わかることなどの教師のねらいを，具体的形で表し，身に付けたか，できるようになったか，わかったかを判断できるように書かれたものである．学習目標は，ID の初めの段階で明確に設定しておくこと，授業の展開も，「出口」もはっきりする．

—— 吉村希至氏，岐阜女子大学
(「教材開発の基礎としてのインストラクショナルデザイン」より)

目標を体系的に分類する

効果的な学習目標を設定するためには、学習の種類とレベルを理解するためのフレームワークが必要です。ここでは、教育設計の礎となる2つの重要な分類体系を探求します。



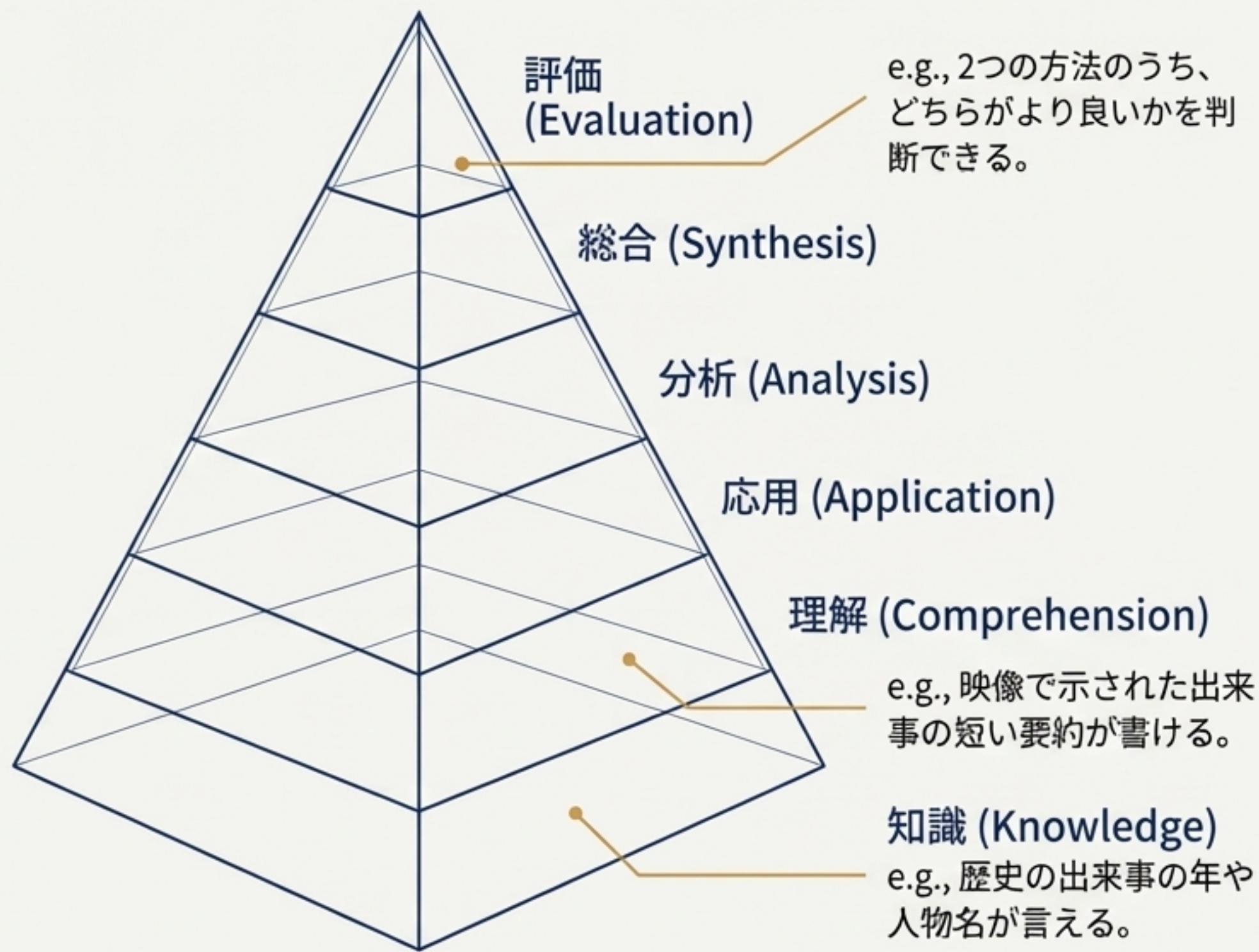
ブルームの教育目標の分類体系



ガニエの学習成果の5分類

思考の階層：ブルームの教育目標分類

B.S.ブルームは学習目標を認知的、情意的、精神運動的領域に分類しました。特に認知的領域は、単純な記憶から複雑な評価まで、思考のレベルを階層的に示します。



学習成果の5つの側面：ガニエの分類

R.ガニエはブルームの理論を拡張し、学習心理学に基づいた実践的な5つの学習成果を提唱しました。これは各教科に応用可能です。



理論と実践の架け橋：ガニエ分類と「学力の3要素」の対応

ガニエの5分類

言語情報 (Verbal Information)
運動技能 (Motor Skills)

知的技能 (Intellectual Skills)
認知的方略 (Cognitive Strategies)

態度 (Attitude)

学力の3要素

基礎的・基本的な知識・技能の習得

知識・技能を活用して課題を解決する
ための思考力・判断力・表現力

主体的に学習に取り組む態度



概念から行動へ：測定可能な「行動目標」を記述する

学習目標を明確にするには、学習者の行動として観察・測定可能な「行動目標」で記述することが不可欠です。これにより、適切な指導法と評価法が明らかになります。

学習成果	具体例	目標行動
言語情報	人の体に関する英単語を書きだすことができる	言う, 書く
運動技能	なわとびで2重跳びを5回以上連続でできる	行う, 実演する
知的技能	前置詞の後に置く代名詞の例を複数挙げるができる	区別する, 例を挙げる
認知的方略	教科書を自分なりに工夫してノートにまとめることができる	採用する

明確化の設計図：「目標分析表」

目標分析表は、単元レベルの学習目標を体系的に設計するための強力なツールです。
横軸に「学力の3要素」、縦軸に単元を配置し、各項目に具体的な行動目標を記述します。

目標分析表			
	主体的に取り組む態度	思考力・判断力・表現力	基礎的・基本的な知識・技能
単元 1			
単元 2			
(etc.)			

学習目標設定の4ステッププロセス

①

分析 (Analyze)

学習指導要領に定められた目標を分析する。

②

単元目標の設定 (Set Unit Objectives)

各学年の目標及び内容を吟味し，単元の学習目標を設定する。

③

行動目標の記述 (Describe Action Objectives)

目標分析表を基に，観点ごとに分析して行動目標として記述する。

④

本時の目標設定 (Set Lesson Objective)

本時で重点に置く行動目標を定め，本時の学習目標を設定する。

実践事例：目標分析表の活用

Context: 小学校4年 社会科

Unit Name: 単元名 「特色ある地域の人々の暮らし」

Lesson Focus: 「伝統や文化を大切に守る町」

この単元を例に、目標分析表がどのように学習目標の明確化に貢献するかを見ていきましょう。



事例分析①：知識・技能と、思考力・判断力・表現力

基礎的・基本的な知識・技能

- 特色ある町の様子や取組を言うことができる。
- 人々の願いや取組，苦勞などが書ける。
- 地図や年表を読み取ったり，ノートにまとめたりできる。

ゴール分析表		
基礎的・基本的な知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
• 特色ある町の様子や取組を言うことができる。 • 人々の願いや取組，苦勞などが書ける。 • 地図や年表を読み取ったり，ノートにまとめたりできる。	• 町づくりの取組に問題意識をもち，追究している。 • 調べたことをもとに，人々の願いや努力，工夫を考え，適切にまとめることができる。	• 町づくりの取組に問題意識をもち，追究している。 • 調べたことをもとに，人々の願いや力，工夫を考え，適切にまとめることができる。

思考力・判断力・表現力

- 町づくりの取組に問題意識をもち，追究している。
- 調べたことをもとに，人々の願いや努力，工夫を考え，適切にまとめることができる。

事例分析②：主体的に学習に取り組む態度

ゴール分析表

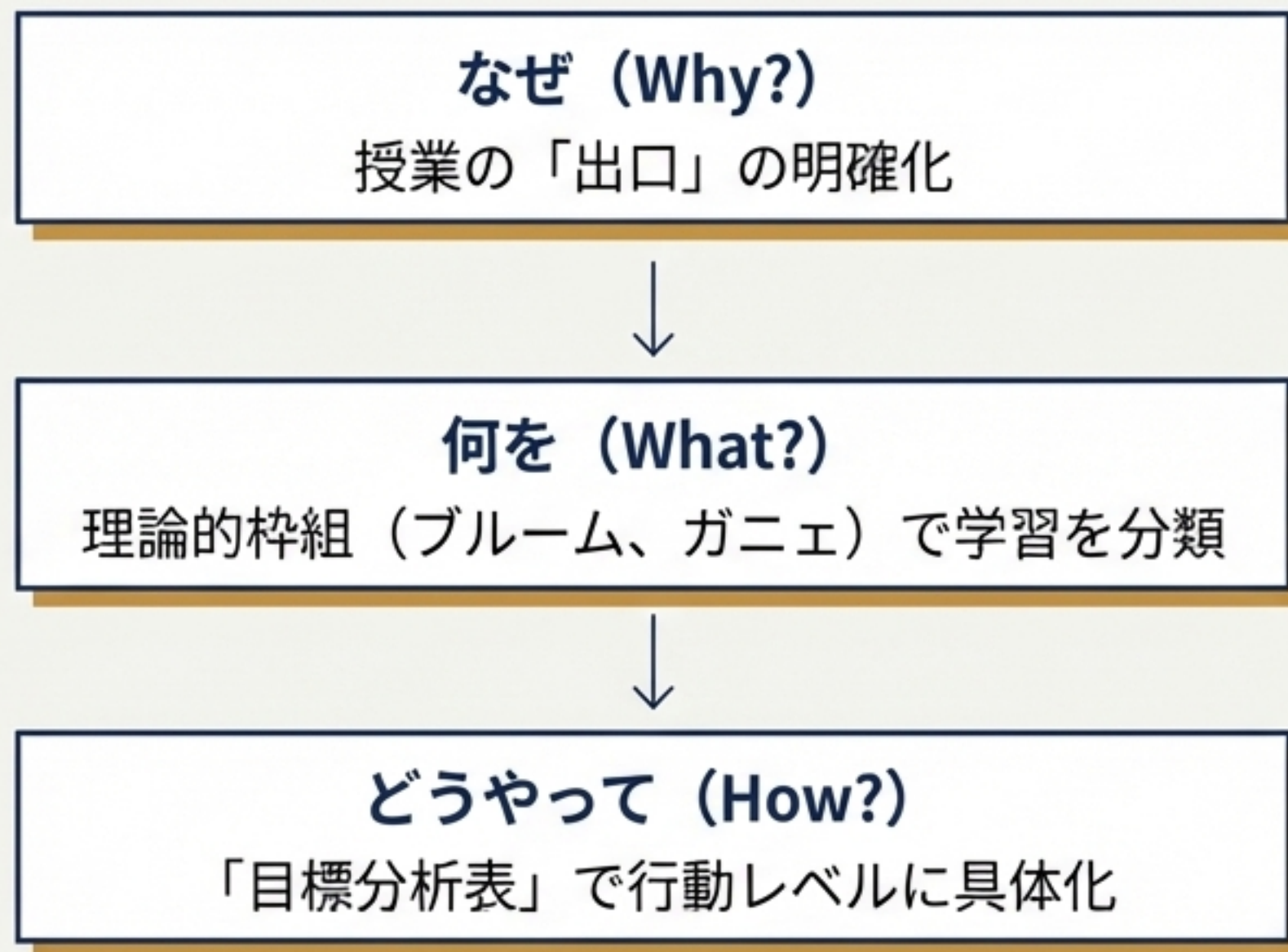
基礎的・基本的な知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
・基礎的・基本的な知識意識をもち、追究している。 ・調べたことをもとに、人々の願いや力、工夫を考え、適切にまとめることができる。	・基礎的・基本的な知識意識をもち、追究している。 ・調べたことをもとに、人々の願いや力、工夫を考え、適切にまとめることができる。 ・特色ある町づくりの取組に対する誇りや愛情をもち、その発展を願う。	・町づくりの取組に問題意識をもち、追究している。 ・調べたことをもとに、人々の願いや力、工夫を考え、適切にまとめることができる。 ・特色ある町づくりの取組に対する誇りや愛情をもち、その発展を願う。

主体的に取り組む態度

Noto Sans JP

- ・特色ある町の様子や、町づくりに努めている人々の取組みを調べようとする。
- ・保護・活用する活動について意欲を持って調べたり考えたり、まとめようとする。
- ・特色ある町づくりの取組に対する誇りや愛情をもち、その発展を願う。

明確な目標が、学習者の成長を保証する



授業設計の出発点は、常に明確な学習目標です。この体系的なアプローチこそが、全ての学習者に質の高い学びと成長を届けるための鍵となります。

参考文献

岐阜女子大学編：教材開発の基礎としてのインストラクショナルデザイン
(Gifu Women's University (Ed.). *Instructional Design as a Foundation for Curriculum Development.*)